

CNSニュースレター

～千葉の地から、千葉のチカラ～

2015 秋
vol. 9



夏空の下、緑の田んぼで虫とりに夢中。とっておきの夏の思い出。(大山千枚田)

も く じ

□一灯照隅	…2	□ろくすけ日和	…10
□指定管理の現場から	…3	「夏の思い出」	
□6～8月の現場レポート	…4	□シニア自然大学	
・主催事業		「北海道グリーンツーリズム視察」	
・ネットワーク・受託事業		□みんなのおおきな食卓	…11
・指定管理施設の主催事業		□会員校・指定管理施設紹介	…12
□こんなことにチャレンジしています！	…7	□スタッフのつぶやき	
□10月～12月 CNS ネットワークイベント情報	…8		

この原稿を書くに当たり昨年の秋号を見ました。千葉自然学校を一般 NPO から認定 NPO 法人へ移行するとの意思表示をしたものでした。お陰様で、今年 3 月末には県から仮認定の承認を頂き、現在は本認定に向けて、公益性の高い事業を進めると共に、出来るだけ多くの皆様方にその活動の様子を伝え、活動に賛同して頂いた方にご寄附をお願いしています。

さて、今年の原稿はと考えましたが、この夏は千葉シニア自然大学のカリキュラムの見直しに取り組んでいましたので、そのことをお伝えすることとします。

平成 24 年度にスタートしたシニア自然大学も、お陰様で 4 年目になりました。大阪のシニア自然大学校の活動に触発され、千葉にもとの思いで立ち上げましたが、予想以上の反響を頂きました。講師の皆様には多忙の中にもかかわらず、熱心に講義をして頂いたお蔭で、受講生からは満足度の高い講座との評価を頂きました。一方では、受講生に更なる高い満足度を頂くためには、課題も明確に浮かび上がってきました。4 年を区切りにここで講座全般の見直しをすることとしました。

1 年目の本科を基礎コースとし、受講生のアンケートなどを参考に数講座の入れ替えを行いました。新たに「山歩きの魅力を探る」などシニアが元気に過ごすきっかけになるような講座を新設しました。

大きく変えたものは、従来の「専攻科」と「研究科」を「専門コース」に改変したことです。基礎コースを終えた時点で、興味を持つ講座を早く受講したいとの要望に応えたいとの思いからです。

○「自然誌・生態学講座」～自然とのかかわりから探る人間社会の未来

○「ちば天文字宙講座」～星のソムリエへの道

○「千葉の自然の観察と調査講座」～身近な野鳥や生き物の不思議を探る

○「気象・気候講座」～原理からわかる雲・雨・気温・風・天気図

○「自然と俳句講座」～俳句を通して自然界の不思議を知る

などのほか

○動植物スケッチ講座、農業実践講座、宿泊キャンプ実践講座、農産物加工講座、伝統技術実践講座

など、多様なメニューを準備し、千葉シニア自然大学の講座を受講した方は勿論、講座の中にはその他一般の方々の受講希望にも応えたいと考えています。

千葉シニア自然大学が、千葉の地で「健康で、元気に学び、社会と繋がる」を目標にスタートして 4 年。更なる高みをめざすと共に、世の中に多少なりとも役立つよう努力したいと考えています。

皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げます。



野鳥の観察(シニア自然大学)

指定管理の現場から

千葉自然学校は、現在県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として千葉県、南房総市からそれぞれ委託を受け、管理・運営を行っています。
このコーナーでは、それぞれの施設での取り組みや想いを皆様にお届けしていきます。

南房総市大房岬自然の家 所長 神保清司

秋色日毎に深まる大房岬です。この度、6月30日付をもちまして施設の名称が変わりました。名称は、「大房岬自然の家」（たいぶさみさきしぜんのいえ）です。少子高齢化の波が著しい地方の教育施設だからこそ、幅広い年齢層のみなさまに豊かな学びの機会を提供できる拠点として一層、プログラムの充実に努めたいと思います。

さて、夏の様子を振り返ると、施設の名称から少年の文字が取れたとはいえ、多く子どもたちが滞在していきましました。そこで目に留まったのが引率の大人の方たち。休日を調整して時間を作り、たくさんの子供たちを引率していらっしゃいます。様々な役割と責任を背負い、額に汗しながら子どもたちと向かい合うその姿に、本当に頭の下がる思いです。こんな大人がもっともっと増えたら、不幸な悲しいニュースも少なくなるのではないのでしょうか。

教育者は学校の先生だけでなく、まだまだ地域にいるのです。そんな方たちの力になりたい。そう思います。



千葉県立君津亀山少年自然の家 所長 庄司達哉

「施設の維持管理」

君津亀山少年自然の家は今年度で開所から29年目となります。29年間が経ち施設トラブルなどもまれに発生します。突然水が出なくなったことやガスが使えなくなったこと、ボイラーが故障し風呂が沸かせないこともありました。ただ、利用する子どもたちが毎日掃除をしてくれているので、施設内はきれいに保たれています。掃除をする子どもの中には、「来年来る後輩のために、ピカピカにしよう」と言ってくれる子もいます。こうした思いは私たちもしっかりと受け止めて、これから利用される皆さんに安全に快適に使っていただくための努力をしなければいけないと感じています。



小さな故障やトラブルはありますが、これまで大きな事故・怪我はありませんでした。施設のトラブルを防ぐためには、毎日施設にいる私たちが「いつもと違うところ」をどれだけ感じられるかによって結果は大きく違います。子どもたちを受け入れて29年間、これからもたくさん子どもを受け入れるために、アンテナを全開にして施設管理を行っています。

千葉県立大房岬自然公園 公園長 平野祐仁

「公園と昆虫採集」

今年の夏も多くの方が公園に昆虫採取に訪れています。公園自体は第2種特別地域に指定されていますので、昆虫採取が禁止されている訳ではありません。しかしながら、カブトムシを始め、特定の昆虫の数が年々減っているようです。要因の一つは、クヌギ、クリを始めとした木々が台風などで倒れてしまったこと、また一つは、近隣の森や林が荒れていることなどがあげられるのではないのでしょうか。

公園だから昆虫が採れるだろうと、近隣に宿泊されている方もいらっしゃいます。子どもの体験活動を求める一方、昔ながら体験ができにくくなっているのも事実です。磯もヒョウモンダコができるようになり注意が必要です。体験をさせるという取組ばかり先行している中、場の提供も考えなければなりません。同時に、採って持ち帰るのではなく、観察したらもとの処に戻すことを親が教えていく必要もあると考えます。でなければ、自然公園でも“昆虫の養殖”を考えなければならなくなる時代が来るかもしれません。



678月の現場レポート

《主催事業》



週末・家族

廃校キャンプシリーズ①「清流・ホタル観賞・そば打ち」

6/20(土)～21(日) 1泊2日 旧老川小学校(大多喜町)

◆清流ウォーク/ホタル観賞/そば打ち体験



親子で楽しむ新企画がスタート。大多喜町の旧老川小学校をベースに地域の方々とその季節に合わせた自然体験を楽しみます。ホタルの清流で、川遊び、夜はホタル観賞。みんなで行く温泉ツアーも見どころです。

週末・子ども

ワイルド釣りキャンプ

～えさから探すぞワイルド釣り～

7/11(土)～12(日) 1泊2日 君津亀山少年自然の家(君津市)

◆えささがし/ワイルド釣り/焚き火



梅雨空をぶっ飛ばせ！
亀山湖にワイルド釣りに出かけて来ました。ワイルドとはえさも釣り竿も自分で捕ったり作ったりします。今回も大物が出ています。のんびり湖畔で過ごす時間もまたいいのです。

夏休み・子ども

海チル・川チルアドベンチャーキャンプ

～海岸の秘境探検と滝つぼダイブに挑戦～

7/30(木)～8/2(日) 3泊4日 大房岬自然の家(南房総市)、君津亀山少年自然の家(君津市)

◆磯の秘境青ペンチャー/川の秘境アドベンチャー/焚き火/想いでクラフト



海チル＝海を楽しむことができる子どもたち。
川チル＝川を楽しむことができる子どもたち。
+お友だちと楽しむことができる子どもたち。
この4日間で海チル川チルになることができました。

夏休み・子ども

原始人サバイバルキャンプ

～ナイフ・火・ロープを使いこなす2日間～

8/4(火)～6(木) 2泊3日 月出野外活動センター(市原市)

◆テント設営/火起こし/川遊び/流しソーメン



自分たちの食事や寝る場所も自分の力で作る。火起こしのマキ割まで自分の力でやり切るキャンプです。真夏の猛暑日、川までのハイキング。あの冷たい川は一生忘れない宝物。全力で遊ぶ子どもたちはいつも素晴らしい。

夏休み・子ども

戦国水鉄砲キャンプ

～時は戦国、各地の英雄が群雄割拠する時代～

8/8(土)～9(日) 1泊2日 月出野外活動センター(市原市)

◆水鉄砲づくり/水鉄砲合戦



自分で作った水鉄砲で水遊びをほとんど楽しみました。水の掛け合い合戦に始まり、スイカの種飛ばし大会に発展。思いっきり声を出せる、走りまわれる、友達、ゆったりした時間を満喫できました。

夏休み・子ども

昆虫キャンプ

～川の生きものと山の生きものに会える夏！～

8/10(月)～11(火) 1泊2日 大山千枚田(鴨川市)、君津亀山少年自然の家(君津市)

◆川の生きもの探し/ライトトラップ/生きもの図鑑づくり



棚田と川で生きもの探しに夢中になる子どもたち。山から流れた清らかな流れに大満足。昆虫・生きものにとことん触れた2日間でした。大山千枚田保存会の浅田さん達にご協力いただきました。

夏休み・子ども

里山・里海大冒険キャンプ

～築180年の古民家に宿泊。里山里海の自然と食材にふれる～

8/18(火)～21(金) 3泊4日 かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(南房総市)

◆虫とり/海水浴/たき火/流しソーメン



古民家ろくすけを拠点に里山里海を満喫した4日間。虫取りにカレー作り。海水浴、ナイトハイク。パーティやキャンプファイヤー、流しそうめんと自然の中で笑い声の絶えない時間を過ごしました。地元の若林さんの夜話しも素敵な時間でした。

夏休み・子ども

自由研究キャンプ

～センサーカメラで生き物の不思議に迫る・夏のおやつ作り～

8/22(土)～23(日) 1泊2日 月出野外活動センター(市原市)

◆センサーカメラ設置/アイスクリーム作り/火起こし/ナイトハイク



森にセンサーカメラを設置。ドキドキの朝を迎える。子どもが大好きなアイスクリーム作りは大盛り上がり。火起こしもチャレンジ。初めはうまくいかなかったけど、2回目は見事に成功おいしい食事をいただきました。

大人(シニア)

房総を歩こう 番外編「富士山御殿場口から双子山」

7/19(日) 日帰り 静岡県御殿場市 周辺

◆御殿場口から双子山約1800mを目指す約8km・約4時間のコース



御殿場市の富士登山口がスタート。苔に癒される緑の登山を溶岩の流れ出た幕岩へ向けて登るコースです。双子山は、砂礫が広がる荒野。霧が山頂をかくしていましたが雄大な斜面を堪能できました。

《ネットワーク・受託事業》



千葉・草原のころろファームとのコラボ事業

「生牧草、自分で収穫、エサやり体験 in 千葉市動物公園」

6月に「生牧草、自分で収穫、エサやり体験 in 千葉市動物公園」というイベントのお手伝いをしました。千葉自然学校の会員団体でもある「NPO 法人 千葉・草原のころろファーム」が、千葉市が推進する千葉市協働事業提案制度と四街道市が推進するみんなで地域づくり事業提案制度（コラボ四街道）を受けて、生牧草専門の（株）中央牧草センター・千葉市動物公園と共に主催した官民一体型のイベントです。千葉自然学校は、運営サポートと子どもたちの指導を担当しました。

普段は見ることでできない、初めて見る・知る動物たちの食生活や動物園の裏側に、参加した子どもたちは目をキラキラさせ、興奮気味に過ごしており、個々の団体だけでは実現できない協働事業の可能性と魅力をあらためて感じたイベントとなりました。

このイベントは今後も継続されるとのこと。ぜひ千葉・草原のころろファームのHPをチェックしてみてください！

（文：佐藤玲子／かつを）



指導者研修

「大山千枚田 自然体験活動 指導者研修会」



7月下旬に大山千枚田保存会の自然体験活動指導者研修を実施してきました。大山千枚田は、魅力ある様々な都市農村の交流活動を実践しており、学校の自然体験受入も活発で、昨年は、53校述べ3300人が体験に訪れています。

指導者は、地元農家のおじいちゃん、おばあちゃんを中心。農業においてはプロなのですが、小学校の児童たちに指導するとなると、なかなかご苦勞も多いようです。

今回の研修内容は、「自然体験活動の理解、対象者理解、伝え方、安全、藁細工の実技指導」と盛りだくさん。真夏の暑い最中、講義や実技交えた1日の研修でしたが、意見や質問も活発に飛び交い、真剣に取り組む姿勢に感動しました。

更に輝きを増しチャレンジし続ける会員校の大山千枚田保存会。千葉自然学校の使命を改めて考えさせられ、身が引き締まる思いとなる研修となりました。

（文：谷慶子／けろっぴ）



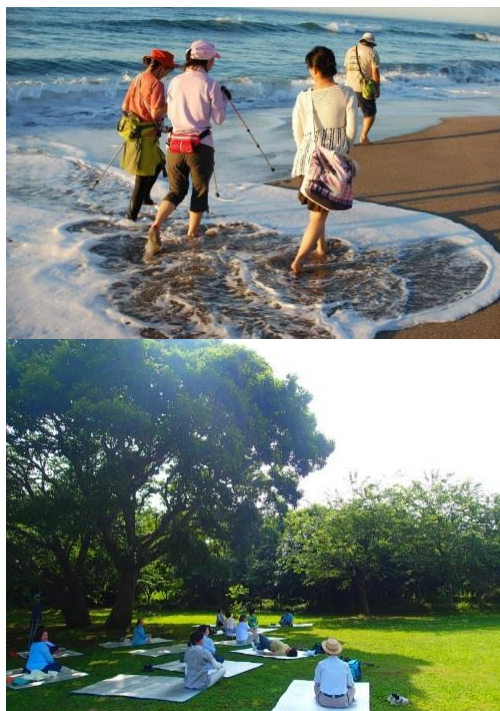
千葉自然学校 平成27年度新設

「南房総エコツーリズム推進事業部」

今年度から新設された「南房総エコツーリズム推進事業部」は、豊かな自然環境と文化が残された南房総エリアでエコツーリズムの推進と定着を目的として設置された部署です。今年度は南房総市観光プロモーション課、南房総観光プロモーション協議会と連携して「ヘルスツーリズムの推進」をキーワードにした事業を受託し推進しています。自然環境と心身の健康の関連性に着目したプログラム開発や人材育成が主な業務内容です。

7月21日プログラム開発を目的に南房総市和田浦海岸で開催したサンライズウォーキングでは、早朝の波打ち際を裸足で1時間ほど歩きました。海水の冷温刺激や砂の粒子による足裏への刺激で血行が促進されることを実際に体験しました。潮風や日光を浴びること自体も健康効果が謳われています。

（文：神保清司／ジン）



■こんな取り組みもしています■

北総事業部会 プレゼンツ～九十九里マルシェ～

北総事業部会のメンバーが中心となって展開している、地元産の農作物や加工品を販売するマルシェ。今年はサンライズ九十九里で8月と10月の2回開催しました。美味しいものに人は寄ってくる！そして笑顔になる！「これはどこで作ってるの？」「どうやって作るの？」「どんな人がやっているの？」…そんな会話から、地域や団体のPRにつながっています。

《指定管理施設の主催事業》

南房総市大房岬自然の家

「ナイトシアター」

8月15日に大房岬自然公園で「星空ナイトシアター」を開催し、小さいお子様からおじいちゃんおばあちゃんまで、実に100名以上の方にご来場いただきました。星空ナイトシアターは公園内に大きなスクリーンを建てて物語を上映するイベントです。今年度は藤代清治の影絵劇「泣いた赤鬼」を上映し、赤鬼と青鬼の友情の物語を楽しんで頂きました。また、朗読は近隣の小学生にご協力頂きました。一生懸命練習をしてくれたようで会場からは感嘆の声が多くあがりました。上映後は大房岬自然の家スタッフによる夏の星座や惑星の紹介。この日はちょうど快晴となり空には満天の星空が広がっていました。説明があった星や星座を家族で探したり、流れ星を発見したりと、皆さんとても楽しそうに観察をしている様子が見られました。



開催がお盆の時期という事でご家族の方が多くいらっしゃいましたが、星空ナイトシアターがこの時期の風物詩として定着し、ご家族で集まる場となればと思っています。

(文：山崎大地/だいすけ)

千葉県立大房岬自然公園

「夜の生きもののツアー」

夜の岬を自然公園のスタッフと歩きながら、生きものを探す「夜の生きもののツアー」。ゴールデンウィークと夏休みの期間で開催したイベントで公園を訪れたたくさんの方に参加してもらうことが出来ました。岬に点在する要塞跡をすみかにしているコウモリ。森の中を散策していると出会うことのあるかわいい姿のアナグマ。湧水池や不動滝を赤く染めるアカテガニ。大房岬で身近に見ることの出来る生きものをメインに3コースのツアーを開催しました。生きもの相手なのでどんな生きものが出てくるかは当日になってからのお楽しみ。

千葉県立君津亀山少年自然の家

「きみかめ七夕まつり」

7月5日に「きみかめ七夕まつり」を開催しました。終日雨天のため室内の実施になりましたが、今回は過去最大の出店者数で多くの方にご来場いただきました。

食べ物ブースは手作りパンやこだわりのラーメン、焼きそばなどの内容盛りだくさんで、大変おまつりらしい雰囲気があふれていました。竹やどんぐりなどの自然物を使ったクラフトは、子どもたちだけではなく大人の方も集中して楽しんでいました。

そして、一番人気だったのは謎の人物「アーリーをさがせ」。館内に隠れる暗号を元にアーリーを探すポイントラリーで、子どもたちは大興奮でした。

今回のビッグイベントは、11月3日(火)のきみかめ山のフェスティバルです。

たくさん皆様のご来場をお待ちしております！

(文：齋藤みゆき/みら)



戦時中に作られた弾薬庫跡に集まるコウモリたちを観察したり、夜に食べ物を探してのんびりと歩くアナグマの親子に遭遇したりと、普段の生活では出会えない体験があふれていました。

歩いている途中で幻想的なセミの羽化に立ち会うこともあり、参加者の方は大人も子どもも目をきらきらさせながらその光景を見ていました。

(文：飯塚伊代/まりも)



こんなことにチャレンジしています！

『千葉三越で揚げ重パーティー開催～“房総の郷土料理が大集合”』

長年、何とか実現したいと思っていた都市部での「揚げ重パーティー」が、この10月21日に千葉市で開催できることになりました。「揚げ重」とは、食の外部化が進む以前の昭和40年代前半ごろまで、千葉県内の農漁村では「子安講」など集落の集まりの際に各家で漬物や煮物などを重箱に詰めて持ち寄って食べる習慣があり、このことを指しています。持ち寄られた料理は、各家庭独自の食材や味付けに富み、料理を囲んで会話が弾み、調理技術や味の普及にもつながっていました。

これを再現する「揚げ重パーティー」開催のきっかけは、平成17年5月、千葉自然学校が大山千枚田保存会で開催した里山シンポジウム「みんなで語ろう千葉の食」での理事長石田三示さんの発言がきっかけでした。「この頃、隣の晩ご飯が見えなくなったね」、「昔は“揚げ重”の習慣があったね」の発言から、ぜひ南房総で「揚げ重パーティー」を実現しようということになりました。翌年3月、大山千枚田保存会と自然の宿「くすの木」と連携し、国土交通省の事業を活用して第1回を「くすの木」で開催しました。その後、平成25年12月に農林水産省「食と地域の交流促進事業」を使って南房総の農漁村の女性たちによる「揚げ重パーティー」を鴨川市総合交流ターミナル「みんなみの里」で開催し好評を博しました。

地域の農林水産物を使って家庭や地域でつくられる郷土料理の魅力を伝え、伝承したい、更には観光資源として活用したり、新たな商品開発につながる仕組みづくりをして、県内各地で「揚げ重」を展開させ、県内外に千葉の食を発信したいと思い、まず県都千葉市で…と思っていたところ千葉三越さんの協力が得られることになりました。

早速、千葉の郷土料理では欠かすことのできない千葉伝統郷土料理研究会の主宰の龍崎英子先生に相談したところ、快く賛同していただき、千葉三越、千葉伝統郷土料理研究会と千葉自然学校の3者で主催、後援千葉県、共催千葉県産米需要拡大推進協議会と一般社団法人千葉県落花生協会となりました。

参加団体は、千葉伝統郷土料理研究会、鴨川市総合交流ターミナル「みんなみの里」、ひらつか地域活性化協議会のほか千葉自然学校の会員校など10団体です。千葉自然学校の古民家「ろくすけ」工房も飲食店営業と菓子製造業の許可を取って参加します。

当日は、「パーティー」のほかに「展示コーナー」、「トークコーナー」、「販売コーナー」を設置し、千葉の農林水産物や郷土料理、加工品の魅力を発信したいと準備を重ねています。厳しい衛生管理が求められる中で、開催が可能になったのは6次産業化の推進で農林漁業者が営業許可を取って活動をされていることでした。

もはや、各家庭での郷土料理を有料で提供することはおそらく不可能なことでありますが、地域の農林漁業者が提供する食が、家庭料理の良さを持ち合わせ、地域の味や歴史文化をも伝えるものであれば、平成の揚げ重として皆さんに愛されるのではないかと期待しています。

(文：遠藤陽子/サニー)





10月

サツマイモ掘り

おいしいサツマイモを掘って、焼きイモを食べよう！

【開催日】10月24日（土）

【対 象】小学生以上の親子

【参加費】800 円

【会 場】上総自然学校（袖ヶ浦市）

【連絡先】上総自然学校

TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

簡単！燻製作り体験

ダンボール箱や針金ハンガーを使って簡単な燻製作りに挑戦！

【開催日】10月24日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,600 円

【会 場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

味噌煮込み刀削りうどんとフルーツ串パンケーキ

お日様の下、みんなで作って食べる「ソトごはん」の味は別格！

【開催日】10月24日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】中学生以上 1,800 円、小学生以下 1,300 円

※3才未満無料

【会 場】大房岬自然の家（南房総市）

【連絡先】大房岬自然の家

TEL：0470-33-4561 FAX：0470-33-4564

E-mail：event@chiba-ns.net

森のハロウィンキャンプ

森の素材を使って仮装を作ってお化けになろう！ジャックオーランタンに火をともし、レッツハロウィンパーティー★

【開催日】10月24日（土）～25日（日）

【対 象】年中・年長・小学生

【参加費】会員 10,000 円、一般 13,000 円

【会 場】君津亀山少年自然の家（君津市）

【連絡先】千葉自然学校

TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net

たき火でスイーツ

火を焚いたら、とびっきりおいしいお菓子作りをしよう！

【開催日】10月24日（土）～25日（日）

【対 象】幼児・小学生

【参加費】会員 10,000 円、一般 14,500 円

【会 場】笠森キャンプ場（長生郡長南町）

【連絡先】ヤックス自然学校

TEL：043-202-7070 FAX：043-202-7237

E-mail：yacs-camp@chiba-ns.net

ピZZAを焼こう！食べよう！

レンガの窯で焼くピZZA。生地作りから焼きまでを体験します。秋野菜やキノコなどをトッピングして、焼きたてのピZZAでランチタイムです。

【開催日】10月25日（日）

【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,700 円（森の宿「せせらぎ」宿泊者は半額）

【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822



11月

紫米稲刈り

古代米の一種である“紫米”の稲刈りをしよう！

【開催日】11月7日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】大人 1,000 円、子供 500 円、3才未満無料

【会 場】上総自然学校（袖ヶ浦市）

【連絡先】上総自然学校

TEL：0438-75-7414 E-mail：satoyama@shinko-ji.jp

秋のファミリーキャンプ

はじめてでも安心！家族みんなで秋キャンプ楽しもう♪

【開催日】11月7日（土）～8日（日）

【対 象】家族

【参加費】ひと家族 会員 10,000 円、一般 11,000 円

【会 場】笠森キャンプ場（長生郡長南町）

【連絡先】ヤックス自然学校

TEL：043-202-7070 FAX：043-202-7237

E-mail：yacs-camp@chiba-ns.net

女子限定のはじめてキャンプ

女子による女子のための女子キャンプ♪おしゃれアウトドアv

【開催日】11月7日（土）～8日（日）

【対 象】20～40代の女性

【参加費】13,500 円

【会 場】大房岬自然公園（南房総市）

【連絡先】大房岬自然の家

TEL：0470-33-4561 FAX：0470-33-4564

E-mail：event@chiba-ns.net

クラフトテープを使ったカゴ作り（初級編）

クラフトテープを使って、カゴを作ります。（プチトートバック）

【開催日】11月14日（土）

【対 象】どなたでも（小学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】900 円

【会 場】館山野鳥の森（館山市）

【連絡先】館山野鳥の森

TEL：0470-28-0166 FAX：0470-28-0187

秋の新そばとハイキング

県民の森⇒大多喜町会所⇒県民の森のハイキング。会所の隠れた蕎麦屋『もみの木庵』に立ち寄り、新そばで昼食です。

【開催日】11月25日（水）

【対 象】どなたでも（中学生以下のお子様は保護者同伴）

【参加費】1,600 円（森の宿「せせらぎ」宿泊者は半額）

【会 場】内浦山県民の森（鴨川市）

【連絡先】内浦山県民の森

TEL：04-7095-2821 FAX：04-7095-2822

秋の恵みキャンプ

ジャンボびっくり！？ハンバーグをつくってみよう！

【開催日】11月28日（土）～29日（日）

【対 象】年中・年長・小学生

【参加費】会員 10,000 円、一般 13,000 円

【会 場】君津亀山少年自然の家（君津市）

【連絡先】千葉自然学校

TEL：043-202-7173 E-mail：camp@chiba-ns.net



冬の星空観察会～スターキャンプ鴨川

夜の星々や流れ星、星雲など夜空の観察をします。子供対象に望遠鏡操作体験会も実施。マイ望遠鏡持参可。君津天文同好会との共催イベント。

【開催日】12月5日(土)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】100円

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

クリスマスリース作り

アケビのツルでリースを作り、色も形もいろいろな木の実と赤やゴールドのリボンで、ワイルド&自分好みのクリスマスリースを作ります。

【開催日】12月6日(日)

【対象】どなたでも(中学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,300円(森の宿「せせらぎ」宿泊者は半額)

【会場】内浦山県民の森(鴨川市)

【連絡先】内浦山県民の森

TEL: 04-7095-2821 FAX: 04-7095-2822

紅葉狩りと流星群観察と囲炉裏田楽作り

紅葉を楽しみつつ、古道や尾根道、森を味わうトレッキングに出かけましょう! 夜はふたご座流星群を観察。かやぶき屋根の古民家でのんびりしたり、囲炉裏でちょっと料理したり、里山の秋をたのしみませんか?

【開催日】12月12日(土)～13日(日)

【対象】20～40代の男性・女性

【参加費】13,500円

【会場】集合: JR上総湊駅、解散: JR岩井駅

【連絡先】大房岬自然の家

TEL: 0470-33-4561 FAX: 0470-33-4564

E-mail: event@chiba-ns.net

正月飾り作り

地元の正月飾り(注連縄)とミニ門松を作ります。

【開催日】12月19日(土)

【対象】どなたでも(小学生以下のお子様は保護者同伴)

【参加費】1,600円

【会場】館山野鳥の森(館山市)

【連絡先】館山野鳥の森

TEL: 0470-28-0166 FAX: 0470-28-0187

森のクリスマスキャンプ

きみかめの森でクリスマスを祝おう♪美味しいごちそうを作ったり、サンタクロースになりきって、HOHOHO♪

【開催日】12月19日(土)～20日(日)

【対象】年中・年長・小学生

【参加費】会員 13,000円、一般 16,000円

【会場】君津亀山少年自然の家(君津市)

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net



フェスティバル

山のフェスティバル

地域の方が出店する体験ブースがもりだくさん! 秋深まるきみかめの森を楽しもう♪

【開催日】11月3日(火) 10時～15時

【対象】どなたでも

【参加費】入場無料

【会場】君津亀山少年自然の家(君津市)

【連絡先】君津亀山少年自然の家

TEL: 0439-39-2628 E-mail: info@kimikame.net

子どもゆめ基金事業

のら仕事に行こう ～集まれのらぼーず! のらガール!～

のら仕事のススメ。作ってとって、自分で食べる。だから、工夫して一生懸命世話をし、おいしいものを作る。シンプルだけど大切な、畑で育む生き抜く力。みんなで「のら仕事」をしよう!

【開催日】③7月4日(土) ④8月29日(土) ⑤9月12日(土) ⑥10月10日(土) ⑦11月14日(土) ⑧12月5日(土) ⑨1月16日(土)

【対象】小学生

【参加費】各回 2,000円

【会場】体験農園 in 岩名(佐倉市)

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

ベビちび★おさんぽくらぶ

乳幼児(0～3才程度)と保護者を対象にした、自然遊びの子育てひろばです。感性ゆたかな乳幼児期に、のびのび自然あそびを親子で楽しみ、健康な心と体づくりを♪

【開催日】②7月8日(水) ③9月9日(水) ④10月4日(水) ⑤11月11日(水) ⑥12月9日(水) ⑦1月14日(木) ⑧2月10日(水)

【対象】乳幼児の親子

【参加費】各回 親子1組2名600円、1名追加200円

【会場】青葉の森公園(千葉市)

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

ボランティア募集

千葉自然学校 キャンプボランティア募集!

自然が好き、子どもが好きな人集まれ! 子どもと流した汗と涙は一生忘れない! この経験は宝物になる! 初心者OK、アウトドアスキルアップに、自然好きな仲間作りに。興味ある方はまずお問い合わせください♪

【活動内容】①千葉自然学校が主催する子どもキャンプや親子キャンプの生活面、安全面のサポート②千葉自然学校が管理する教育委施設のイベントサポート など

【対象】18才以上で自然体験活動に興味のある方

【活動場所】佐倉市、君津市、市原市、南房総市

【活動までの流れ】説明会、OJT研修に参加し、ボランティア登録したのち担当より日程調整。

【待遇】交通費支給(上限4,000円)※イベントにかかる費用(食費・宿泊費)はこちらで負担します。

【連絡先】千葉自然学校

TEL: 043-202-7173 E-mail: camp@chiba-ns.net

他にも楽しいイベントもりだくさん!

Webをチェック! 検索

●ろくすけ日和『夏の思い出』

千葉自然学校では、築180年の古民家を管理しています。南房総市平久里という地域にあり、周りは里山。まるで昔話のような場所です。この家には屋号という昔からの愛称があり、皆から親しみを込めて「ろくすけ」と呼ばれています。シニア自然大学やヤックス自然学校のキャンプリーダーの力を借りて少しずつ整備を進めながら、子ども・大人のキャンプで活躍中です。時々テレビにも出ています！

毎日暑い日が続いていましたが、9月になるとあっという間に気温が下がり、秋を迎えましたね。ろくすけの周りでもセミの代わりにコオロギなどの虫の音色が主役となり、秋に花や実をつける植物たちも着々と秋を迎える準備を始めています。そんな秋めいてきたろくすけですが、今回は夏を振り返って「夏のろくすけの様子」を皆さんにご報告したいと思います。

夏のろくすけはヤックス自然学校や千葉自然学校企画のキャンプ、シニア自然学校、一般の団体の方など、文字通り老若男女多くの方にご利用いただきました。普段は1人暮らしなので、夜に明かりが点いていたり、家の中から賑やかな声が聞こえるというのはなんだか不思議な感覚でした。

利用している皆さんはというと、ろくすけを拠点に海遊びや川遊び、また周辺の自然散策や流しそうめん、ウメの収穫体験、昆虫採取など、夏ならではの体験をして過ごしている様子が見られました。特に子ども達は目をキラキラさせて自然あふれる環境を楽しんでいました。遊び以外でも畳の部屋で皆で食べたご飯や、木の壁のお風呂、蚊帳が吊ってある部屋で寝袋で寝たことなど、生活の場面もきっと夏休みの思い出の1つとして心に刻まれている事と思います。普段ろくすけに住んでいると自然も農村という環境も当たり前になってしまう時がありますが、今年の夏の皆さんの様子を見て、また新たな気持ちでろくすけを見ることが出来た気がします。

さて、そんな夏も終わり秋を迎えましたが、秋からは平群ツーリズムや地域のお祭りなど、また違った賑やかな日々が始まります。私自身も新たな気持ちで里山の秋を楽しみつつ、平群やろくすけにいらっしゃる皆さんにも楽しんでもらえるような環境作りにいそしむ日々を送ろうと思います。

(文: かやぶき屋根の古民家ろくすけ住人 山崎大地/だいすけ)



●千葉シニア自然大学 「北海道グリーンフルーツーリズム視察」

昨年に引き続き今年も7月に北海道厚真町を拠点に体験型観光（グリーン・ツーリズム）を主とする北海道研修旅行が行われ、総勢25名が参加しました。

厚真町は苫小牧市の東隣の町です。緑豊かな森と肥沃な大地に恵まれ、米やハスカップが特産で、冬の降雪量も少なく、夏は涼しいことから移住する人も少なくないようです。

1日目午後は、勇払原野を流れてウトナイ湖に注ぐ美々川でのカヌー体験。原野の中の清流を小鳥たちの鳴き声を聞きながらセーリングし、大きな川面に青い空が映るゴール地点へ全員無事到着しました。夕食は宿舎の前庭で町名物のジンギスカンでパーティ。宮坂厚真町長さんを始め、地元の名士の方々と交えて話が弾み、時間もビールもあっという間になくなってしまいました。

2日目は洞爺湖・有珠山から余市方面へ。有珠山は生憎の曇り空で巨大な噴火口が見えず残念でしたが、ビジターセンターで洞爺湖の自然と活発な火山活動が続ける有珠山の説明を聞き、地球がダイナミックに生きていることを実感しました。午後は余市のニッカウイスキー工場へ。マッサンとエリーが夢の出発点として選んだ余市。ヨーロッパの城郭のような石造りの壁に囲まれた工場の中に入ると、真っ青な空の下、赤い屋根を抱いた石造りの工場が何棟も並び、マッサンとエリーが暮らした建物も移築されており、皆さん暫くの間、朝ドラを思い出していたようです。

3日目は、ハスカップ狩りと石油備蓄基地見学。朝露に濡れた瑞々しい紫色の小さなハスカップの実を沢山摘み、そのままジャム作り。一人3、4瓶位のフレッシュなお土産が出来ました。昼はモネの名画のような睡蓮の咲く公園で北海道の食材満載のお弁当を満喫。午後は北海道石油共同備蓄基地の見学。直径82メートルの巨大タンクが90基並ぶ姿は壮観でした。午後3時過ぎに新千歳空港で名残を惜しみながら解散しました。

北海道の大地の豊かさと人々の暖かな心に触れる3日間となりました。

(文: 飯田耕一)



みんなのおおきな食卓

～遠藤さんの郷土料理のお話～

8月、平群の古民家で子どもたちがキャンプをしました。お盆の時期だったので、地元の方にこの地域の盆棚や焼き米の作り方を教わりました。

この方が川に網を仕掛けてくださっていると聞いて、みんなで出かけて行くと、大きなもくぞうがにが4匹かかっていた。10センチくらいの甲羅から鋭い鉤を持つ毛むくじゃらな大きな腕が伸びていました。初めて見るかにでした。食べようかどうかみんなで相談し、今回はお盆なので殺生はやめて、放してやりました。

もくぞうがにを使った「かにこづゆ」は、君津・富津市、鋸南町などの房総丘陵の郷土料理です。山間部の川に住むもくぞうがにを秋になるとタニシを餌にして釣ったり、アミでつかまえて味噌汁にします。

生きているうちによく水洗いして、甲羅とはかまを取り除き、出刃包丁でよくたたきます。更に、すり鉢ですりつぶし、少し水を加えてざるで濾します。これを煮たてた味噌汁に加えると、かきたま汁のようにかにかが白く固まってきます。お椀にもってゆずや三つ葉を添えて食べます。出汁の出たおいしいおつゆです。

(文：遠藤陽子)



松田料理長のおすすめしシビ～旬の秋しシビ～

○甘鯛（アマダイ）

スズキ目アマダイ科アマダイ属のタイであり、身が甘く感じるという説や甘し（うま）からついた説がある。種類は、赤アマダイ・黄アマダイ・白アマダイの3種類になりよく取れるのが赤アマダイで全体の8割を占めているが、白が一番美味しいとされている。

・甘鯛の焼き物

若狭グジを鱗ごと皮目を下にして叩きながら鱗が飛ばないように切り、身のほうから8割近く焼いてから皮目はさっと水をかけてから焼くと鱗がきれいに立って身のほうにも火が通る。身と皮を箸など使って剥がしてやり、また元の形に直したら出来上がり。備考として、頭の部位はそのまま焼くのも良しだが、その場合は鱗を立てないために皮目から焼くことと甘鯛は頭の部分が一番美味しいために出てきたら正客扱いとされていると思っても良い。個人的には頭は唐揚げにしてポン酢が好みである。

※若狭グジとは、甘鯛は身に水分が多くて刺身にしても美味しくないので適度に、水分を抜いてうまみを引き出す工夫が若狭グジに代表される取ってすぐひと塩をする浜塩の技法で、今では若狭湾の小浜に限らずひと塩ものの甘鯛を若狭グジと言う。

○鰯（カマス）

鰯の名前は、穀物や塩などを入れる藁蓆でできた吠の開口部にカマスの大きな口が似ているところからきている。鰯ほど焼き物に適している魚はいないと思われる。鰯のやき食い一升めしの諺があるほど、ご飯を過食してしまうほど美味しいということのたとえで、カルシウムの含有量は多く、鰹の5倍もある。

・鰯の酒盗焼き

鰯を三枚に卸して、中骨と腹骨をとり除いて、市販の酒盗1・酒1・水3で薄めて地を作り先ほどの鰯を三十分漬けたら、箆にあけて水気を取り除いて、好みの大きさに切って、片棲もしくは両棲に櫛を刺して身のほうから焼いて出来上がり。

○秋刀魚（サンマ）

秋刀魚の名前は、細長い魚を意味する狭真魚がサンマになった説と大きな群れを意味する沢と魚を意味するマから、サワソマが語源となった2説がある。

・秋刀魚の有馬煮

秋刀魚の鱗と頭を取り、丸のまま内臓を取り除いて筒状に切ってから焼いて、その身を頭のほうから骨だけ引いたら、綺麗に骨だけとれる。

出汁・酒・味噌・砂糖を煮詰めた汁に並べて入れて、最後に実山椒を加えて出来上がり。

(文：松田光央)

会員校紹介 平成27年9月現在

●団体会員（37団体）

NPO 法人大山千枚田保存会、岩井民宿組合、ヤックス自然学校、鴨川陶芸館(株)ちば南房総、千倉オレンジセンター、NPO 法人たてやま・海辺の鑑定団「わたしの田舎」谷当工房、NPO 法人佐倉みどりネット、森林塾かずさの森、(有)みねおかいきいき館、(一財)千葉県観光公社、上総自然学校、NPO 法人安房文化遺産フォーラム、NPO 法人鴨川自然学校、(株)かずさアカデミアパーク、食と農の体験工房「よもぎ館」、千倉民宿組合、千葉県酪農のさと、ぬく森くらぶ、自然の宿「くすの木」、リゾートイン白浜、Live Stock(ライブストック)、さんむアクションミュージアム、市津・ちはら台自然楽校、NPO 法人里山会(勝浦エンゼルアドベンチャーランド)、千葉伝統郷土料理研究会、ひらつか地域活性化協議会、ピーちゃんクラブ、NPO 法人ちば里山センター、森の時計・自然工夫塾、さんむ里の子自然塾(あいよ農場)、ELFIN 体験共育くらぶ、NPO 法人千葉・草原のこころファーム、森のようちえんはっぴー、環南みんなの楽校、(一財)千葉県環境財団

●賛助会員（6団体）

館山日東バス株式会社、(財)ちば国際コンベンションビューロー、株式会社富楽里とみやま、株式会社HMC 東京 旅行事業部、スコープジャパン株式会社、林造園土木株式会社

指定管理施設

現在、県内にある3ヶ所の施設を指定管理者として管理・運営しています。

- ・南房総市大房岬自然の家(千葉県の施設として平成17年9月～平成20年3月)
(南房総市の施設として平成20年4月～)
- ・千葉県立大房岬自然公園(平成18年4月～)
- ・千葉県立君津亀山少年自然の家(平成20年4月～)



大房岬自然公園



大房岬自然の家



君津亀山少年自然の家

運営施設

- ・かやぶき屋根の古民家「ろくすけ」(平成16年5月～)
- ・千葉県立中央博物館ミュージアムショップ(平成26年4月～)

千葉事務所のスタッフが
毎回一言つぶやきます。
お見逃しなく!

■猛暑の夏かと思えば、8月下旬は肌寒い日が続き、早い秋の到来を思わせる気候となっています。お盆明け、久しぶりに孫たちを連れて故郷の葉山に帰って来ました。鎌倉駅から江の島まで江ノ電に乗せてやりましたが、生憎の雨模様にも係らず車内は混み合い、民家の軒先を走る様子は50数年前と変わらない情景でした。これからもずーっと残って欲しい風景です。(オーシャン)

■援農を続けているミカン園のミカンがピンポン玉の大きさになりました。青い実をかじってみると中はもう淡いオレンジ色、果汁はとてもジューシーでした。(サニー)

■残暑厳しい夏と思いきや、結局のところ冷夏で締め括られました。暑い夏、帰って来ーい!(ボクサー)

■夏はキャンプ三昧でした。今年も多くの笑顔に出会えたことに感謝!(たこはち)

■9月の豪雨で思いがけぬ被害に遭われ、お見舞い申し上げます。気持ちを引き締め、自然体験を。(アリ)

■慣れない経理の仕事の合間に、指導現場も少しずつ。現場で人と繋がるって嬉しい!(けろっぴ)

■手帳好きです。店頭に並ぶ来年の手帳に季節の移り変わりを感じる今日この頃。(かつを)

■キャンプにもってこいの季節がきます。できるだけ外で過ごしたいと思います。(のりべん)

■芸術の秋・食欲の秋・スポーツの秋。皆さん秋を楽しみましょう。(らうす)

《編集後記》

夏はキャンプで海と川と森を堪能しました。秋はハロウィンキャンプを担当します。きまかめでお会いしましょう!(かみい)

千葉自然学校のミッション

体験活動を通じ

- ・だれもが人生を豊かに生き、支え合う力を育む
- ・地域の資源を保全・活用し、次代に引き継ぐ
- ・ネットワークを充実し、地域の活性化をめざす



千葉県内における自然体験活動団体をつなぐネットワーク型の自然学校として、平成15年より活動を行っています。自然体験を通して、千葉県の里山・里海の保全と地域の活性化を目指しています。また、ネットワーク会員との連携を強化し、県内全域で幅広い世代を対象とした自然体験活動を実施しています。

認定NPO法人を目指して～ご寄付お願い～

寄付金額が3,000円以上である寄付者様を募集しています。当法人の活動にご理解、ご協力いただける方はぜひご支援ください。

▼振込先▼(郵便局)

【郵便振替口座番号】00170-5-259431

【加入者名】特定非営利活動法人 千葉自然学校

【寄付金額】3,000円より

※領収書を発行いたしますので、お名前、ご住所、ご連絡先を必ずご記入ください。

発行： **NPO法人 千葉自然学校**

千葉自然学校ニュースレター(年4回発行)

■千葉事務所 〒260-0015 千葉市中央区富士見 2-3-1 塚本大千葉ビル 7 階

電話：043-227-7103/FAX：043-202-7237

■安房事務所 〒299-2404 南房総市富浦町多田良 1212-23 大房岬自然の家内

電話・FAX：0470-33-2693

ホームページ：<http://www.chiba-ns.net> メールアドレス：info@chiba-ns.net

